令和8年 第3四半期【令和8年7月1日(水)～9月30日(水)】

鹿児島市感染症情報

発行元:鹿児島市保健所

ホームページ　http://www.city.kagoshima.lg.jp 〉健康・福祉 〉健康・医療 〉感染症、流行疾患 〉鹿児島市感染症情報（週報・月報・四半期報）

本感染症情報は、医師が患者を診断をした場合に**必ず最寄りの保健所へ届出を行わなければならない感染症**（以下、**「全数把握対象疾病」**といいます。）の届出状況を示すもので、四半期毎に統計を行っております。

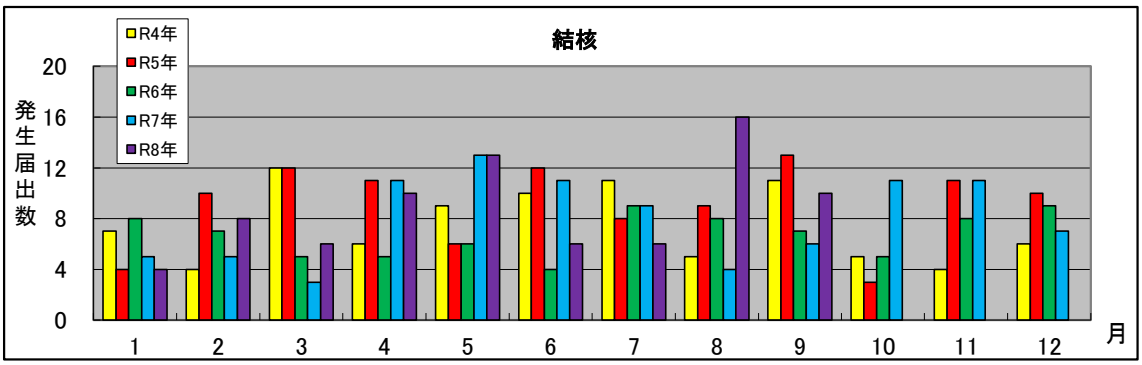
なお、**市内の指定された医療機関のみ**報告義務がある感染症（インフルエンザ、感染性胃腸炎（おう吐下痢症）、水痘（みずぼうそう）等で、**「定点把握対象疾病」**といいます。）の発生状況は、週ごと又は月ごとに統計を行い、毎週又は毎月、市ホームページ（ホームページ掲載は上記と同様です。）で公表しています。

●全数把握対象疾病の届出状況（医師が患者を診断した場合、届出義務がある疾病）

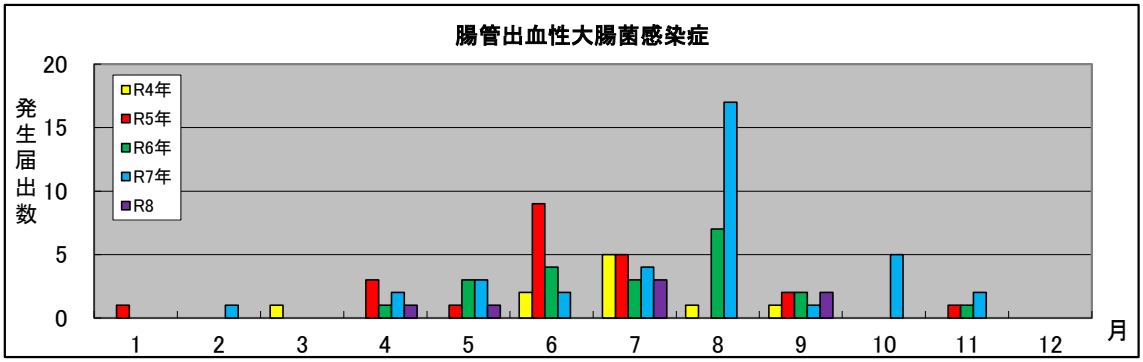
類型	感染症名	届出数
一　類　感　染　症	届出はありません	
二　類　感　染　症	結核	32
三　類　感　染　症	腸管出血性大腸菌感染症	5
四　類　感　染　症	重症熱性血小板減少症候群	5
	レジオネラ症	5
五　類　感　染　症	アメーバ赤痢	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2
	急性脳炎	3
	後天性免疫不全症候群	3
	クロイツフェルト･ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
	水痘（入院例）	3
	梅毒	20
	播種性クリプトコックス症	1
	破傷風	2

※上記の【全数把握対象疾病の届出状況】には**令和８年７月１日(水)から９月３０日(水)まで**に届出があった全数把握対象疾病のみを掲載しております。

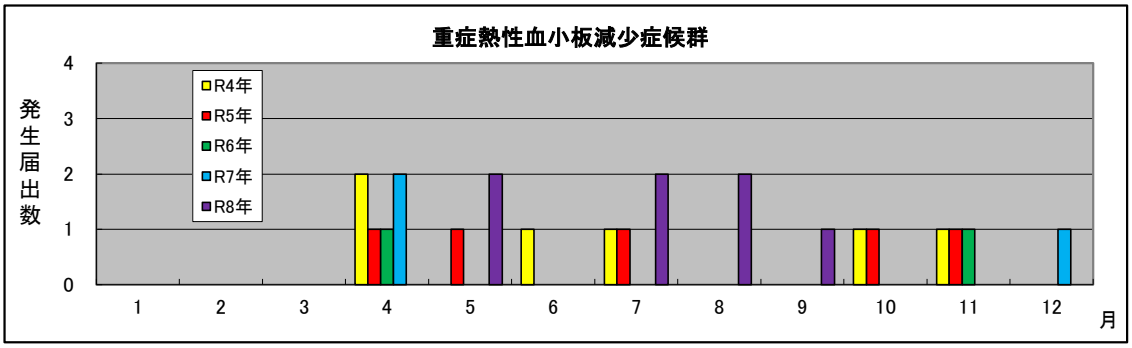
●二類感染症の届出状況

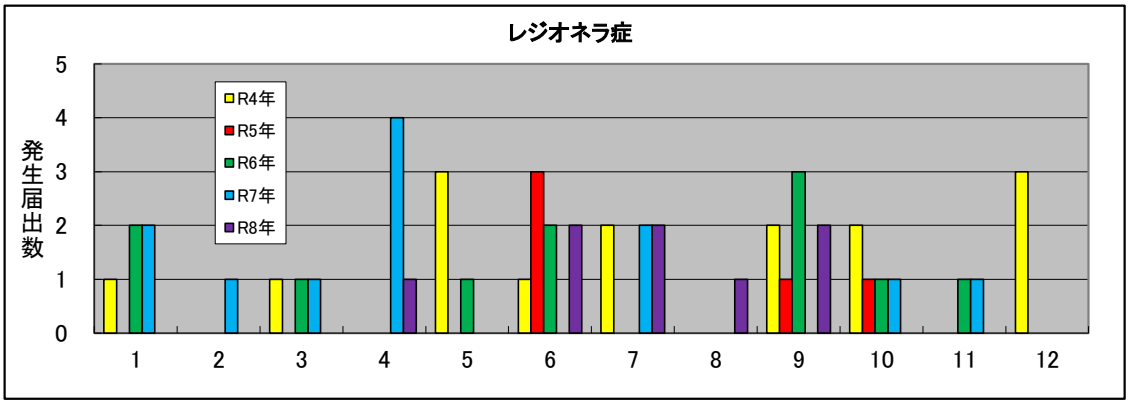


●三類感染症の届出状況

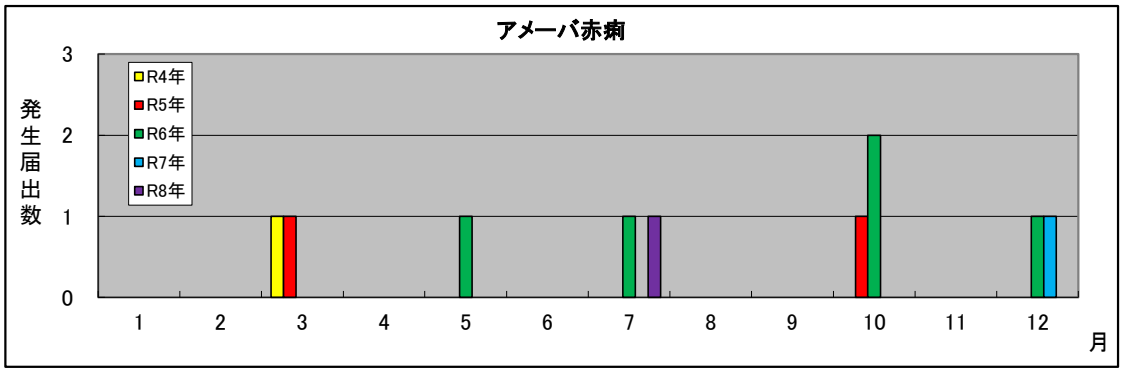


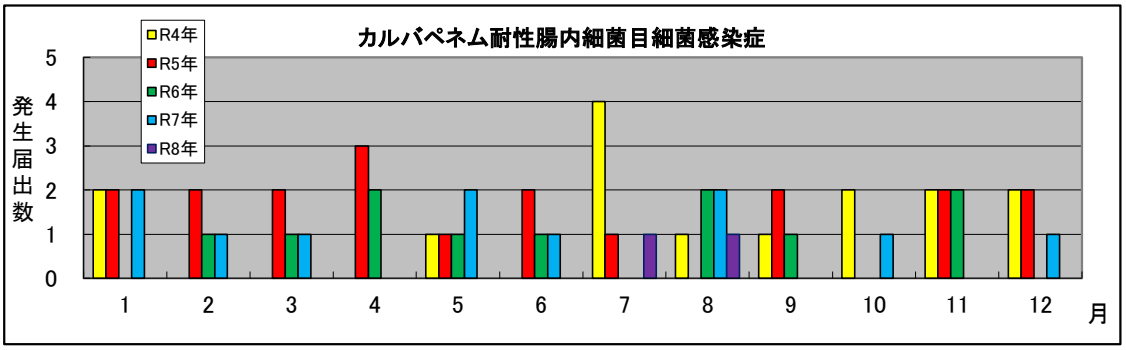
●四類感染症の届出状況

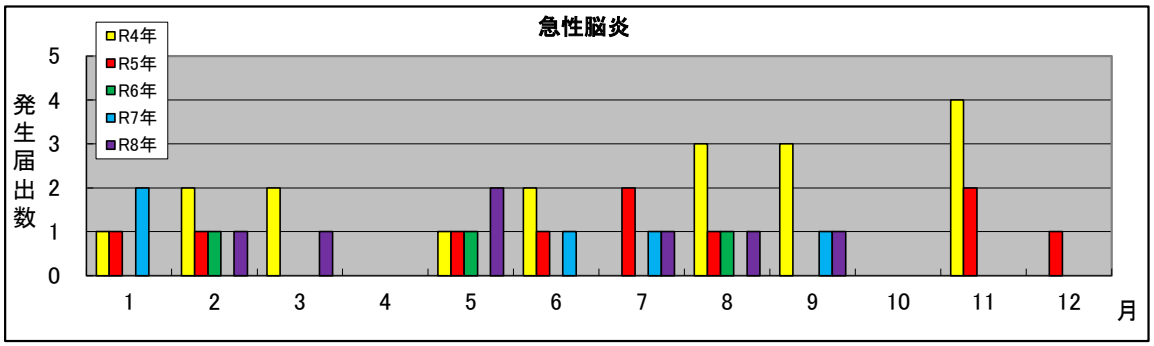


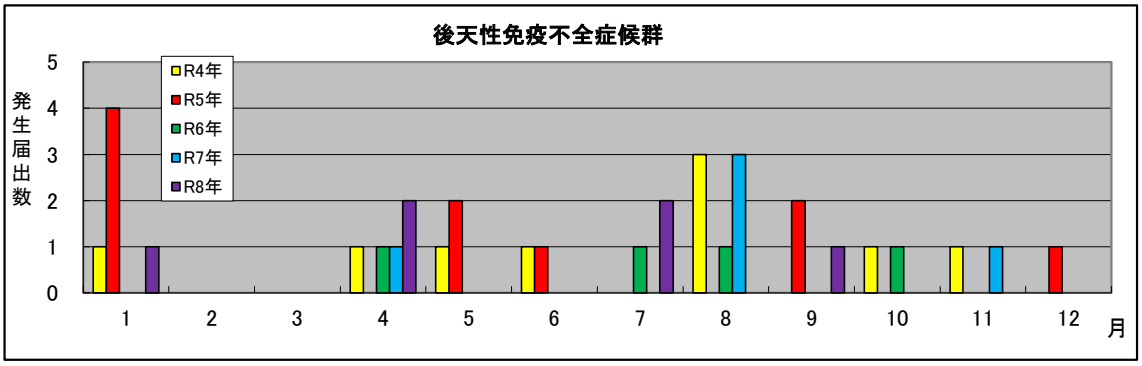


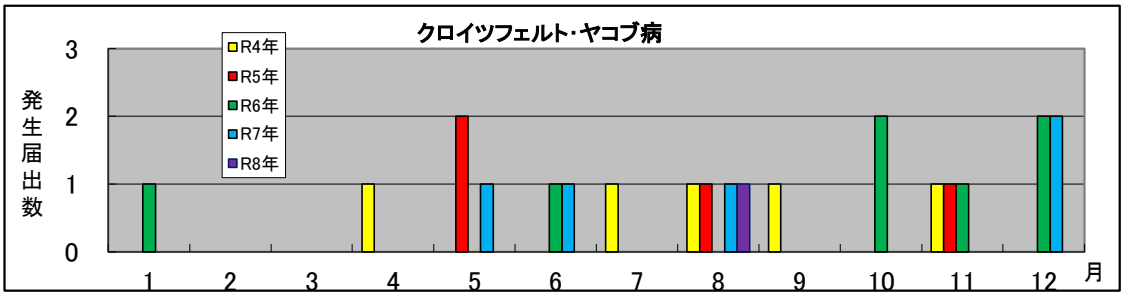
●五類感染症の届出状況

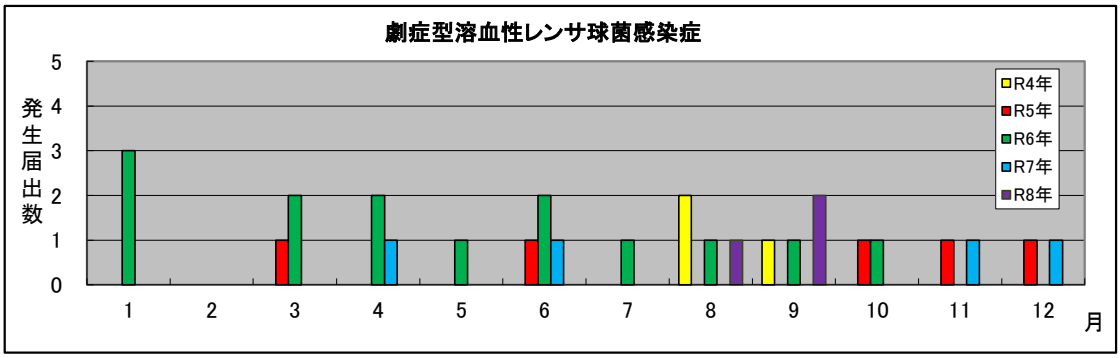

アメーバ赤痢
発生届出数
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年
0
1
2
3
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

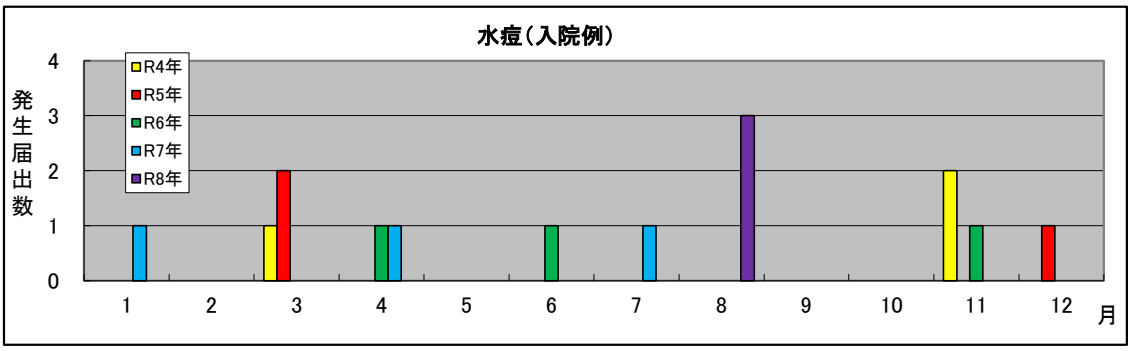

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
発生届出数
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年
0
1
2
3
4
5
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

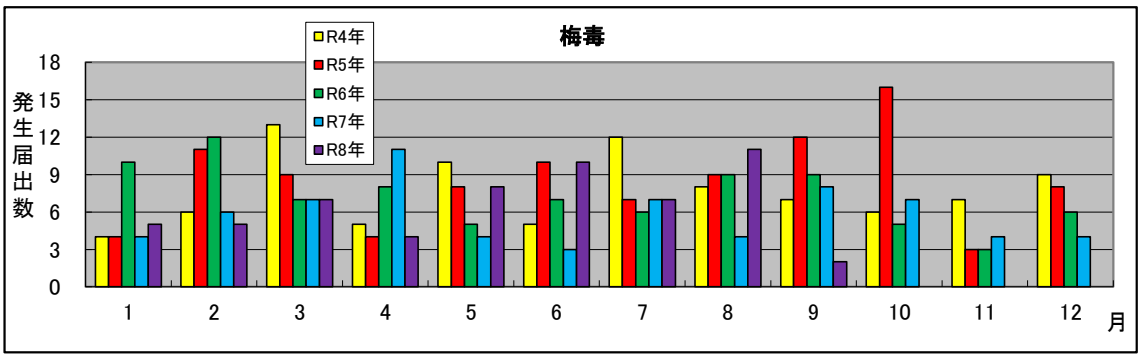

急性脳炎
発生届出数
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年
0
1
2
3
4
5
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

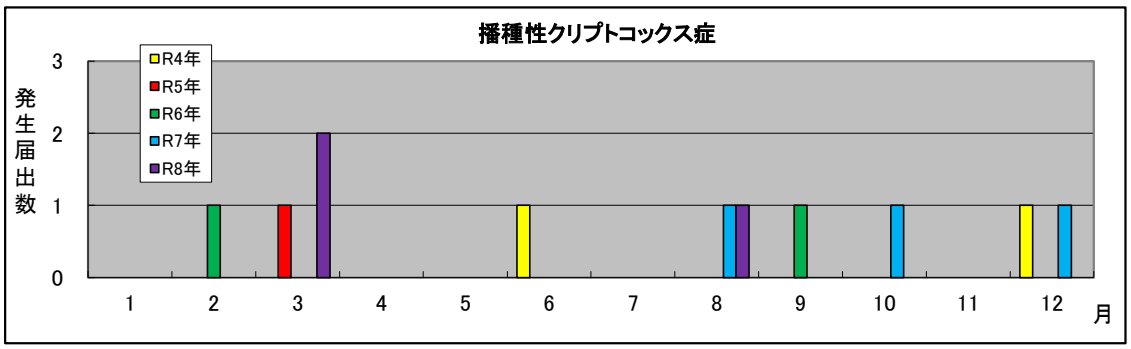

後天性免疫不全症候群
発生届出数
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年
0
1
2
3
4
5
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月

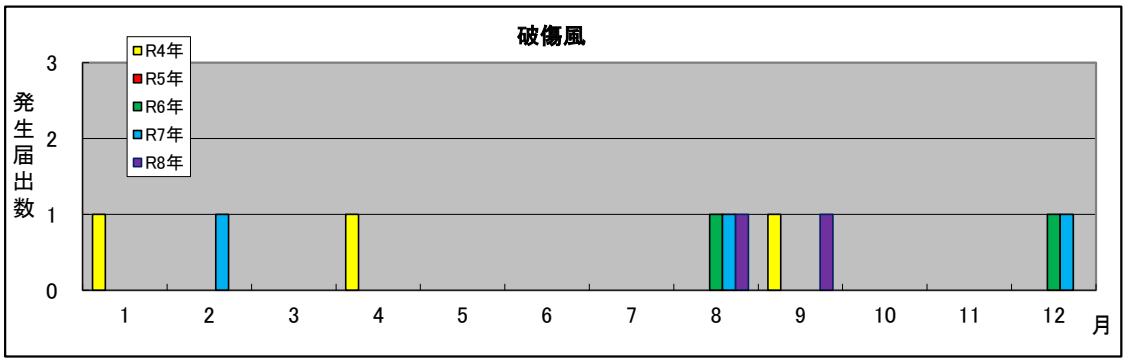

クロイツフェルト･ヤコブ病
発生届出数
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年
0
1
2
3
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月


劇症型溶血性レンサ球菌感染症
発生届出数
0
1
2
3
4
5
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年


水痘（入院例）
発生届出数
0
1
2
3
4
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年


梅毒
発生届出数
0
3
6
9
12
15
18
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年


播種性クリプトコックス症
発生届出数
0
1
2
3
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年


破傷風
発生届出数
0
1
2
3
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
月
R4年
R5年
R6年
R7年
R8年

●全数把握対象疾病の一覧表

以下の一覧表に掲載する感染症は、全数把握対象疾病です。
下線が引かれている感染症については、２～４ページで届出状況のグラフを掲載しています。

類型	染症の名称
一類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう（天然痘）、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類感染症	急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MARSコロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）
三類感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類感染症	E型肝炎、ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類感染症	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、アメーバ赤痢、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘（入院例に限る）、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ